

## 第5学年 算数科学習指導案

1 単元(教材)名 比べ方を考えよう(1)

2 研究との関わり

①環境問題や燃費の観点から考えて車を購入すると仮定することで、社会科「自動車」や家庭科「買い物」で学習したことと関連付ける。(教科等横断的)

②目的にあった物の選び方や買い方を、これからの身近な買い物の場面につなげていく。(生活の場面)

3 本時の学習指導(10時間扱い 本時10/10)

(1) 目標 学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づけることができる。  
【思考力、判断力、表現力等】

(2) 展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点 ※評価 ☆教科横断 ★生活の場面
1 混み具合と速さの考えで、共通していることを考える。	○単位量あたりの大きさ ○平均の考え方	○混み具合も速さも、単位量あたりの大きさを使ってきたことを振り返り、統合的に捉える。 ○どちらも、ならして考えるという平均の考え方を使っていることを説明できるようにする。 ○どちらも、2つの量を組み合わせた単位量あたりの大きさを使って比べていることを説明できるようにする。
2 本時の課題を知る。	2つの量の関係に着目し、単位量あたりの大きさを使った比べ方を考えよう。	
3 燃費と値段の異なる自動車A、B2台のうち、どちらを購入するかを、データを基に検討する。 A 150万円 1Lで7km B 180万円 1Lで28km	○2つの量の関係	○単位量あたりの大きさを使って、日常の場面を見直す活動を取り入れる。 ○1Lの値段130円、1ヶ月、月平均280km走ると仮定し、1年間乗ると考えるなら、どちらの自動車を購入した方がよいかを考えさせる。 ○Bの車を何年以上乗れば、Aの車よりお得になるかも考えさせる。 ☆★自動車の値段だけでなく、その他の条件として、何がわかれば比べられるのか、考えられるようにする。
4 自力解決をする。	○単位量あたりの大きさ	○数直線や図が入ったワークシートを使い、目的に適した2つの数量を選び、立式できるようにする。 ※数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。 (思考・判断・表現)(発表・ワークシート)
5 小グループで話し合う。		○ホワイトボードを使い、購入したい車について自分の考えを小グループで交換し合うようにする。 ○友達の意見を聞き、自分の考えを深めていく。 ☆自動車の購入は、燃費だけでなく、環境問題の観点からも考えられるようにする。
6 本時のまとめをする		○必要な2つの量の関係に着目し、単位量あたりの大きさを使った比べ方を考えるという数学的な見方・考え方を振り返る。
7 本時の振り返りをする。		★今日の学習を振り返り、単位量あたりの大きさの考え方を、日常生活にどう生かしていきたいかをまとめるようにする。

家の人は、車を買うとき、どんな観点で考えているのでしょうか。

買い物のポイントは、家庭科の授業でも学習しましたね。

社会科の時間に学習した「自動車」について、環境問題の点からも考えられますね。

単位量あたりの大きさを使っている場面をもっと探してみましょ。

#### 4 板書計画

つないでいこう  
算数の目～大切な見方・考え方～

問 「こみぐあい」と「速さ」の  
考えで、共通していることはど  
んなことですか。

こみぐあい

- A
- B

速さ

- C
- D

課 2つの量の関係に着目し、単位量  
あたりの大きさを使った比べ方を  
考えよう。

どちらを購入したい？

- A ガソリン自動車 150万円 1Lで7km進む。
- B ハイブリッド車 180万円 1Lで28km進む。

☆条件・・・ガソリン1L130円  
1か月280km走る。

まとめ

必要な2つの量の関係に着目  
し、単位量あたりの大きさを比  
べると、根拠をもち明確に比較  
できる。

振り返り